



プール満喫わーい夏休み

中越沖地震で被災し、夏休み気分を十分に味わえない刈羽村の子どもに川遊びやトレッキングなどを三日間にわたって楽しんでもらうツアーが十七日、南魚沼市で始まった。初日に訪れたプールでは子どもたちは思いっきりはしゃいでいた。

同市で地域の観光資源を生かしたツアーなどを企画するNPO法人「南魚沼もてなしの郷」(宮田俊之理事長)が県の補助を得て主催した。期間中は同市の民宿に泊ま

ゴムボートに乗り、気持ちよさそうな刈羽村の子どもたち17日、南魚沼市内のホテルのプール

被災の刈羽小児童招待

南魚沼のNPO法人

り、川や山で遊んだり、宿題に取り組んだりする。

参加したのは刈羽小の四一六年生十九人。十七日は刈羽村からバスで同市のホテルへ移動。到着した児童らはすぐに水着に着替え、ホテル近くのプールで夢中になって水遊び。特にウォーターズライダーが気に入った様子だった。

応急危険度判定で自宅が「要注意」となった同小四年の佐藤華さん(〇)は「夏休みに入って初めてのプール遊び。ボート遊びは怖かったけど、面白かった。この後の笹だんご作りが楽しみ」と笑顔で話していた。